

くまもと 北から 南から

編 町村圏 広域市

自然と文化を共有する地域のパワー

阿蘇の山肌を一齐に燃え上がらせる外輪の野焼き、夜空を焦がす壮観な日本一の火文字焼き。日本列島に春を告げるこの「阿蘇の火まつり」を盛り上げているのが、阿蘇広域市町村圏です。阿蘇十二町村は、共通のシンボル、火の山「阿蘇」のもとに郡が一体となった振興発展を目指して、独創的な取り組みを重ねてきました。平成元年には、

全国に先駆けて、広域圏の在り方を示す「阿蘇の国づくり」も策定し、結びつきを着実に強めてきました。約三十万人が訪れるという「阿蘇の火まつり」は、阿蘇を愛するそのような情熱の中から生まれたものです。この町村の枠を越えた広域観光事業の成功は全国的に画期的であるばかりではなく、地元にも大きな自信と経済

的波及効果をもたらしました。そしてこのパワーが、平成二年の「阿蘇カルデラスーパーマラソン」誕生へとつながったのです。スーパーマラソンの名が示すとおり、走る距離は何と百キロ。阿蘇の他には北海道にしかないという国内最長、しかも高低差が約四百メートルというこのマラソンは、まさに阿蘇という壮大な自然にふさわしいものといえるでしょう。第一回目の昨年六月は、全国から百六十五人が挑戦し、そのうちの百三十七人が完走。阿蘇五岳を中心とした南北外輪山を「征服」しました。苛酷なコースにもかかわらず、いや、苛酷なコースだからこそ、ランナーの気持は上々。今年もさらに多くの挑戦者がさわやかな初夏の阿蘇に健脚を競うことでしょう。そして秋には、第四回県民文化祭阿蘇の開催。文化面の活動が目まぐるしく。平成元年度には優良広域市町村圏自治大臣表彰を受けた阿蘇十二町村の強い連帯と協力は、広域市町村圏が中心となる初めての県民文化祭に向けて既にパワー全開です。



火振り神事
日本一の火文字焼き

3月中旬
(約1週間)

阿蘇の火まつり

- 伝統芸能祭
- 火振り神事
- 大阿蘇音楽祭
- 阿蘇バルンミーティング
- パラグライダーチャレンジ 体験フライトinASO
- 阿蘇カヌー大会
- ポップステップスプリングinアスペクタ
- 大阿蘇クロスカントリー
- 日本一火文字焼き
- 九州花火競演会
- 野焼き等

6月9日

阿蘇カルデラスーパーマラソン

阿蘇火山を一周するカルデラコース
100kmの部・50kmの部



10月19日
10月27日

第四回熊本県民文化祭

テーマ：阿蘇ルネッサンス「天・地・創・造」、
大自然に育まれた文化の艶演
イベントや野外造形祭、クラフト展などを行う



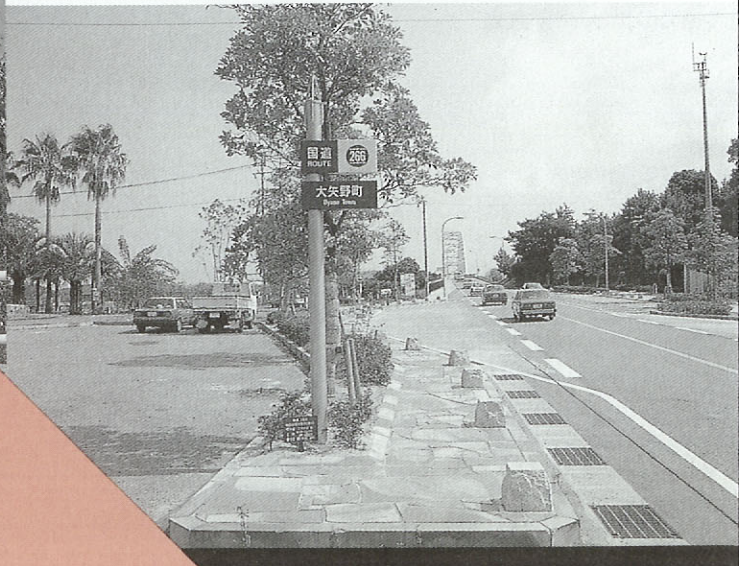
1990年の「阿蘇カルデラスーパーマラソン」風景

快適な海洋リゾートをめざして

異国情緒薫る天草を走っていると、パールグレーに輝き、尖塔形のトップに鐘（カリオン）がついたおしゃれなデザインの案内板が目につきます。これは、天草島二市十三町で構成される天草広域市町村圏協議会が進める「天草地域道路景観整備計画」の一環。「天草広域サイン計画」によって設置されたものです。

きっかけは昭和六十一年の「雲仙天草国立公園指定三十周年、天草五橋開通二十周年記念事業」。来訪者から聞かれた「天草はわかりにくいなあ」という声が刺激となりました。二十一世紀に向けて快適な海洋リゾートづくりをめざす「天草」は、全島が一体となり天草を訪れる人たちに「日本一のアーニティロード」を提供しようと、日本一づくり運動の補助金と各市町のふるさと創生資金からの分担出資を財源に、昭和六十三年「サイン計画」に着手したのです。計画の実施にあたっては、地域づくりや道路、交通安全に

「確かに国道266号を走っているな」と教えるロード記名サイン、「今大矢野町だな」と現在地の再確認も。(幹線で見られる)



総合案内サイン+ゾーン案内サイン。地図上の点や線は、上から貼ってある透明のシートに書かれており、変更があればそのシートだけを剝がして修正すればOK。維持管理のしやすさも初めから計画のうちだ。

「この道を行けばまちがいなし、あと〇分(〇キロ)で、〇〇に着く」と知らせる連結誘導サイン。(幹線で見られる)



天草
広域市町村圏

阿蘇
広域市町村圏